

## 学校を奏で、にぎわす鳥たち

亀山高等学校は鈴鹿川本流に沿ってできた河岸段丘上の左岸東端近くに位置し、校地の南は急傾斜地（「段丘崖」）となっている。それは西に位置する東小学校の陰涼寺山から東へ約500m、南北（上下）に約50m程度あり、現在木々が繁茂する樹林帯（50年前の写真等では、松林のようであるが）となっている。

そのため、季節により多様な鳥のさえずりが聞かれ、時折かまびすしくさえ聞こえることがある。

鳥に詳しくないが、姿や鳴き声等からわかるものもありあげてみると、どこにでもいて誰もが知るカラス、スズメ、ツバメ、キジバトの他に、季節にもよるがヒヨドリ、セグロセキレイ、ウグイス、シジュウカラ、イカル、コシアカツバメなどがいるようである。

ちなみに鳥の鳴き声には各地域で聞きなしがあり、有名なものや面白いものとしては次のものがあり、そうしたことから鳥の生息がわかる場合がある。

ウグイス：「ホーホケキョ（法一法華経）」

キジバト：「デデポーポー」

シジュウカラ：「ススピーーン」

イカル：「キーコーキー」や「イセイイトコネー（伊勢いい所ねえ）」

ツバメ：「ツチクッテ、ムシクッテ、クチシブーイ（土喰って、虫喰って、口渋ーい）」



シジュウカラ



コシアカツバメ

また、そうした鳥たちの一部は校舎に巣をかける。

巣を見かけるものとしては、ツバメやセグロセキレイ、スズメ、キジバトの他、近在でみないものとしてはコシアカツバメの徳利状の巣がある。

そうした巣ができると糞やら木屑がその下に落ちるものであるが、特に苦情は来ない。

それは生徒を含め、みんなが温かく見守っているものという証であろうか？

最後に、こうした樹林帯のおかげもあって多くの鳥たちが学校を奏で、生徒たちをにぎやかに応援するようさえずる一方で、近年、地域で目立つサルをも誘引し、大小20匹を超えるファミリーがそこを通り校地内を我が物顔で歩きまわり一騒ぎがおきることは困ったものである。



キジバト



イカル



セグロセキレイ